

「小松商工会議所景気見通し調査」

結果報告書

調査期間 令和 3年 12月

小 松 商 工 会 議 所

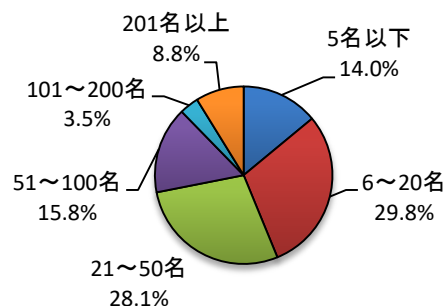
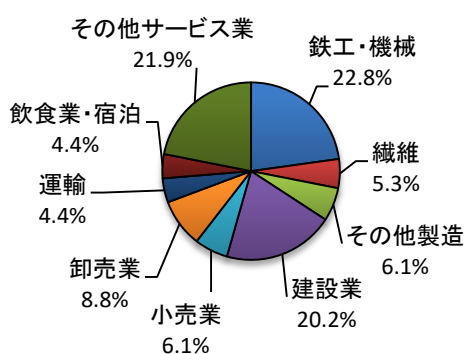
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 222社

回答企業数 114企業（回答率 51.4%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		3	7	7	2	7	26
	繊維	1	1	2	2			6
	その他製造	1	2	2	1	1		7
建設業		2	12	8	1			23
小売業		2	1	1	3			7
卸売業		2	3	4		1		10
サービス業	運輸			2	3			5
	飲食業・宿泊	4		1				5
	その他サービス業	4	12	5	1		3	25
合計		16	34	32	18	4	10	114



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 ……D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月)

今 期 …… 令和3年度第3四半期(令和3年10月～12月、但し12月は見込み)

来 期 …… 令和3年度第4四半期(令和4年1月～3月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景 況 感 …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 …… DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 …… DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(5)採算性(経常利益)・・DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	9	6	2	4	1	2	3			1	4	3	10	5
不 変	14	19	1	1	5	4	14	15	2	2	3	3	19	28
悪 化	3	1	3	1	1	1	6	8	5	4	3	4	6	1
無回答														1
総 計	26		6		7		23		7		10		35	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

【今期：好転の理由】

受注量増（鉄工・機械）
大口需要有り（繊維）
繁忙期のため（建設業）
年末工期が多く工事が増えた（建設）
受注、売上とも伸びている（建設業）
コロナが落ち着いているため（卸売業）
主要市場の建機業界以外にも明るさが広がっている（卸売業）
コロナ感染者減少とGoToなどのクーポン利用により、取引先に客が戻ってきた為（卸売業）
新型コロナウイルス関連の規制が解除になった事で人出が増え、小松・羽田の航空ダイヤも正常になった事が要因（運輸）
コロナ収束を見越し、設備投資が見えてきている（運輸）
建機の物量が多い（運輸）
新型コロナウイルス感染症減少により、GoTo イート使用者増加（飲食業・宿泊）
県民割を利用するお客様が増加した（飲食業・宿泊）
コロナが収まり、客足が増えた。県民割の効果あり（飲食業・宿泊）
県民割で増加（その他サービス業）
コロナウイルスの収束が見えてきたことによる、上昇感（その他サービス業）
イベントは減少したが、医療関係が好調。土木も少しUP（その他サービス業）

【今期：不変の理由】

海外需要が好調に推移しており、建機メーカーからの受注も高い状況が継続（鉄工・機械）
注文が高止まりしている（鉄工・機械）
建機他全般に、増産計画が高推移で操業（鉄工・機械）
取引先の業界はどれも増産の計画あり（鉄工・機械）
受注・生産量に大きな変化はない（鉄工・機械）
観光業界がコロナ禍により低迷し、観光バスの生産が低迷（鉄工・機械）
業界動向から（鉄工・機械）
稼働時間（鉄工・機械）
半導体不足・東南アジアのロックダウンの影響で自動車の生産が減っており、その煽りで弊社の売上高も減少している（繊維）

業界においては年々屋根材として瓦が使用される事が減少している。10月は天候がよく屋根工事が出来たことから、出荷量が増加した（その他製造）
業種は製造だが建設業にあたり、材料の高騰があり、見積を以前に提出してあるので、採算は悪くなる（その他製造）
少し観光客が増加したようだが、我が社に関しては変わらない（その他製造）
もともと年末は売上が高い時期なので、前期よりは好転しているが、例年と比較すると悪化している（その他製造）
今期は前期と比べ今のところ横ばいであると思う（建設業）
受注状況に余り変化がない為（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
受注環境において依然低水準の推移となった（建設業）
コロナ禍の影響（材料の納期遅れ）・ウッドショック、仕入れ材の高騰（卸売業）
小さい動きが出て来ている（卸売業）
何もよくなっていない（卸売業）
新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことにより、運休していた航空便の復便、それに伴う旅客の増加があった（その他サービス業）
利用者数がほとんど変わらない（その他サービス業）
関与先の売上減少で、当事務所の収入も幾分減少（その他サービス業）
取引先の現在の業況より（その他サービス業）
官公需の占める割合が高く、安定している（その他サービス業）
あまり変化なし（その他サービス業）
コロナの影響はそこまでない（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

原材料高騰の影響（その他製造）
天候悪化（建設業）
材料等が入荷しない。納入時期がはっきりしない（建設業）
建設資材高騰（建設業）
オミクロン株への不安、原油の高騰による（小売業）
自社請負工事の減少。販売機材の納期長期化（その他サービス業）
指名案件数の総数が少なくなっていると感じられる（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

業種は製造だが建設業にあたり、材料の高騰があり、見積もりが以前に提出してあるので、採算は悪くなるが、その後は、材料高騰分が織り込まれる（その他製造）
コロナがやや収束してきた（卸売業）
物が上がり庶民の生活に変化が（卸売業）
オミクロン株は気になるが、今期同様順々に好転すると予想（運輸）
引き続き、現在の状況が続くものと見ている（運輸）
中止されていたGoToトラベルの再開が予定されているため（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

建機他 2021年並で推移と想定（鉄工・機械）

当面増産計画が継続の見込み（鉄工・機械）
注文が高止まりしている（鉄工・機械）
受注・生産量に大きな変化はない（鉄工・機械）
観光業界がコロナ禍により低迷し、観光バスの生産の低迷が、当分2年間位続く（鉄工・機械）
季節変動の部分の要因が強いため（鉄工・機械）
受注は高水準継続見込みも、資材の値上げの影響があり採算性悪化が予想される（鉄工・機械）
大口需要継続（繊維）
例年12月～2月は冬期間に入り出荷が鈍くなるため(天気が悪い時期で屋根工事が出来ない) (その他製造)
来期も見通し的には、このまま推移しそうだ（その他製造）
採算性が低いと思われる（建設業）
未だ先行き不透明、受注環境においても厳しいものがある（建設業）
毎年、冬期間は受注が少なくなる傾向にある（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
主要市場の建機業界以外にも明るさが広がっている（卸売業）
そろそろ資金が続かない（卸売業）
仕入れ単価も上がるが売り上げ単価も上がる。仕入れも落ちつく（卸売業）
当面は現状維持の見込み（運輸）
新型コロナウイルス感染症減少による為、GoTo イート使用者増加（飲食業・宿泊）
現在の予約状況からの推測（飲食業・宿泊）
コロナ終息に至らない限り、好転は難しい（飲食業・宿泊）
利用者数がほとんど変わらない（その他サービス業）
関与先の廃業等が予定されているため（その他サービス業）
取引先の今後の業績予想より（その他サービス業）
官公需の占める割合が高く、安定している（その他サービス業）
受注在り（その他サービス業）
経済の変化の途中で、先が見えない状況（その他サービス業）
業界特有の春先の落ち込みによるもの（その他サービス業）
国・県・市、支援策を増加させてほしい（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

新型コロナウイルスが長く続いて、自社の客先の前売り悪化の影響で、受注量が少なく、自社の生産売上も悪化（繊維）
原材料高騰の影響が悪化（その他製造）
閑散期に入る為（建設業）
好転する根拠なし（建設業）
業務量の減少（建設業）
天候不順（建設業）
機器の納入時期がわからないので受注できない（建設業）
建設資材高騰（建設業）
まだまだ競合店が増えるということで、先行きが見えない（小売業）
オミクロン株への不安、原油価格の高止まり（小売業）
コロナ感染者増加、プレミアム商品券利用の終了、大雪予報による外出の抑制など（卸売業）

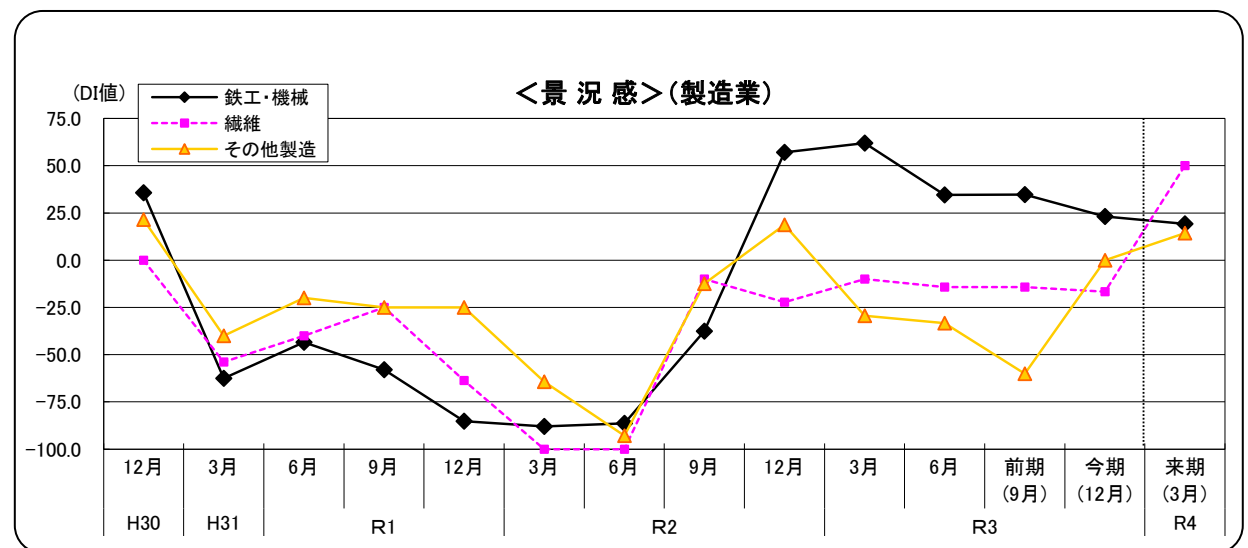
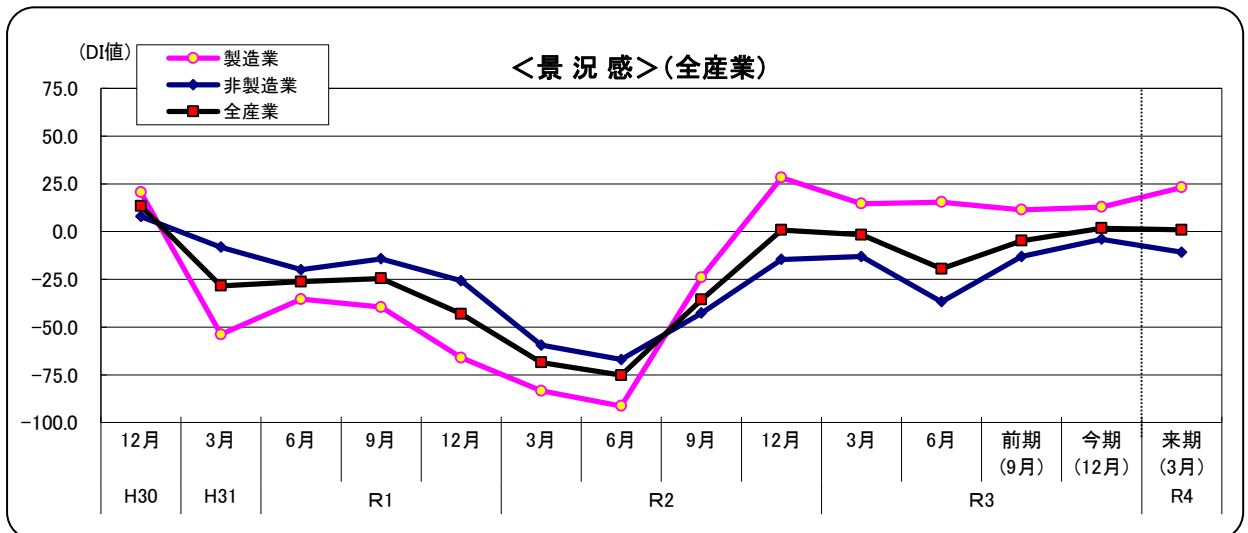
(1)-2 DI値

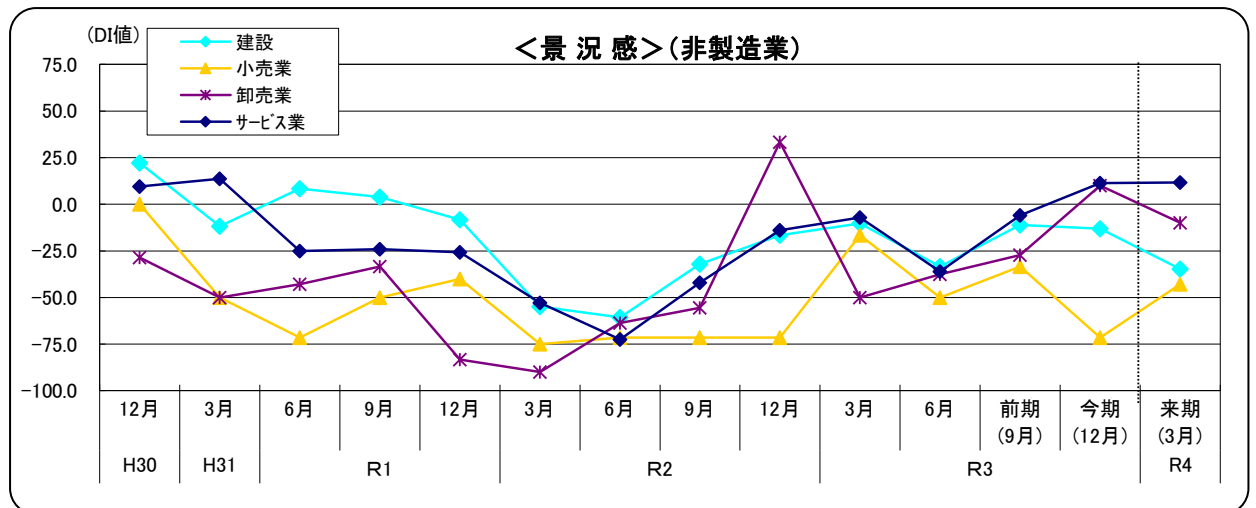
(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	34.8	23.1	19.2
	繊維	▲ 14.3	▲ 16.7	50.0
	その他製造	▲ 60.0	0.0	14.3
	製造計	11.4	12.8	23.1
非製造業	建設業	▲ 11.1	▲ 13.0	▲ 34.8
	小売業	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 42.9
	卸売業	▲ 27.3	10.0	▲ 10.0
	サービス業(運輸含む)	▲ 5.9	11.4	11.8
	非製造計	▲ 13.0	▲ 4.0	▲ 10.8
全 体		▲ 4.8	1.8	0.9
改善予測		0.0	▲ 0.9	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

(1)-3 年次別の推移





(単位:DI)

区分	今期(R3.12)			来期(R4.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	12.8	7	6	▼ 23.1	▼ 4	▼ 4	39社
非製造業	▲ 4.0	▲ 7	0	▼ ▲ 10.8	▼ ▲ 9	▼ ▲ 2	75社
全体	1.8	▲ 2	2	▼ 0.9	▼ ▲ 3	▼ 0	114社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

製造業については、鉄工・機械において 前期 34.8 ポイント、今期 23.1 ポイント、来期 19.2 ポイントと、建機業界の牽引により、高い値が続いている。繊維において 前期 ▲14.3 ポイント、今期 ▲16.7 ポイントと少し低下したが、来期は 50.0 ポイント、その他製造においても 前期 ▲60.0 ポイント、今期 0.0 ポイント、来期 14.3 ポイントと、少し明るい兆しが見える。

非製造業については、建設業において 前期 ▲11.1 ポイント、今期 ▲13.0 ポイント、来期 ▲34.8 ポイント、小売業において 前期 ▲33.3 ポイント、今期 ▲71.4 ポイント、来期 ▲42.9 ポイント、卸売業において 前期 ▲27.3 ポイント、今期 10.0 ポイント、来期 ▲10.0、サービス業において 前期 ▲5.9 ポイント、今期 11.4 ポイント、来期 11.8 ポイントであった。非製造業全体では、今期 ▲ 4.0、来期 ▲ 10.8 と低く、景況の二極化が続いている。

全体については、前期 ▲4.8 ポイント、今期 1.8 と、二期連続上昇した。しかし、新型コロナウイルス感染症の減少、またそれに伴い Go To イートや県民割りの利用などが増え活気づいてきたが、原油高や原材料不足・ウッドショックなどによる価格の高騰や納期遅れ、新変異株「オミクロン株」の感染拡大の懸念など、先行き不透明な状態は続いている。

(1)－(5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和3年度第3四半期)の状況

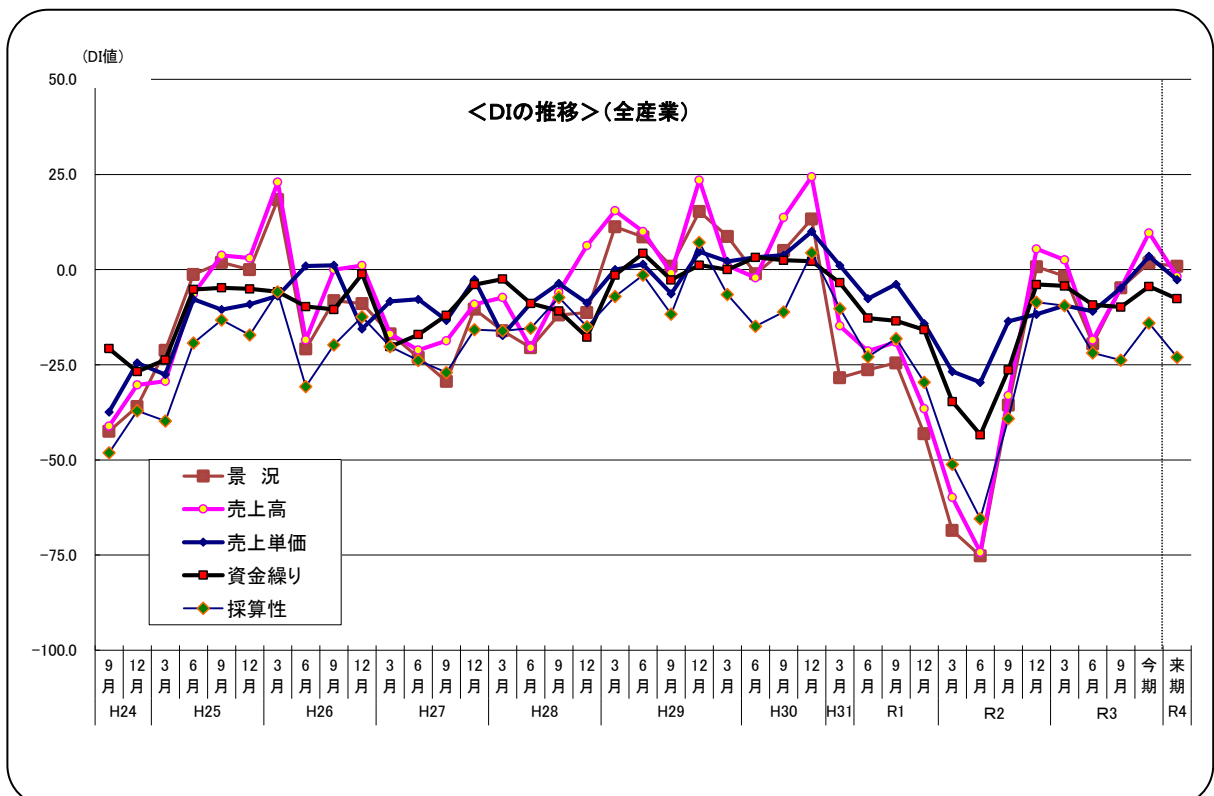
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	23.1	34.6	34.6	0.0	3.8
繊維	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3
その他製造	0.0	42.9	14.3	▲ 14.3	▲ 42.9
建設業	▲ 13.0	▲ 13.0	▲ 17.4	4.3	▲ 21.7
小売業	▲ 71.4	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9
卸売業	10.0	0.0	0.0	20.0	▲ 10.0
サービス業	11.4	14.3	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 8.6
全体	1.8	9.6	3.5	▲ 4.4	▲ 14.0

来期(令和3年度第4四半期)の見通

(単位:DI)

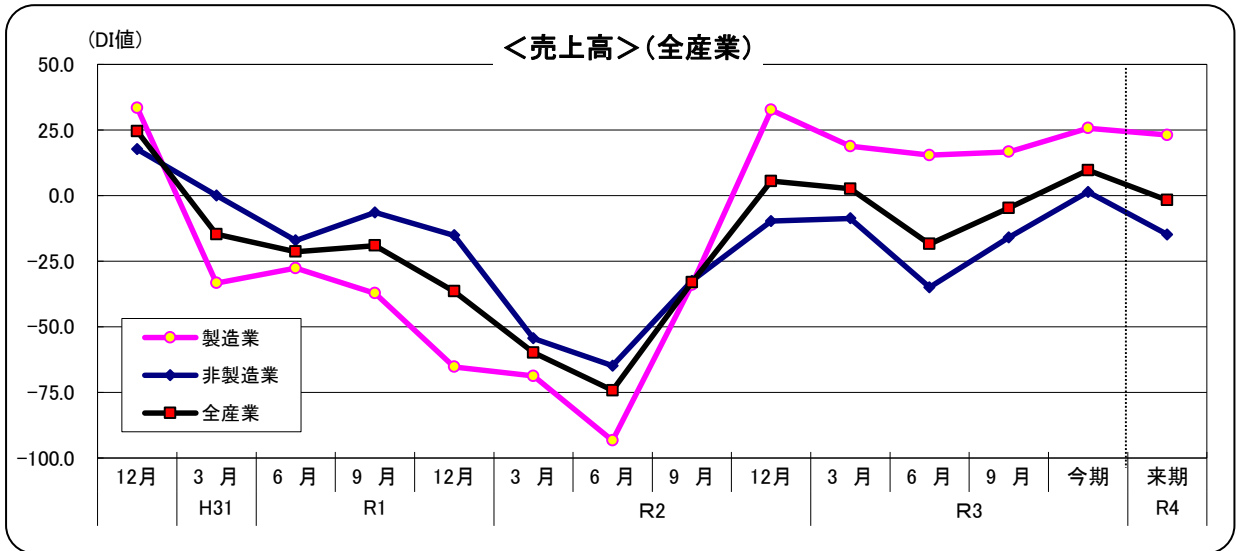
業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	19.2	23.1	23.1	7.7	0.0
繊維	50.0	50.0	16.7	0.0	33.3
その他製造	14.3	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 57.1
建設業	▲ 34.8	▲ 34.8	▲ 17.4	▲ 8.7	▲ 43.5
小売業	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9
卸売業	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 50.0
サービス業	11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 12.1	▲ 14.7
全体	0.9	▲ 1.8	▲ 2.7	▲ 9.8	▲ 23.0
改善予測(今回)	▲ 0.9	▲ 11.4	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 9.0
改善予測(R3.9)	0.0	▲ 6.6	1.0	▲ 1.0	0.9
改善予測(R3.6)	22.0	17.7	6.7	1.6	8.2



(2) 売上高

(単位: DI)

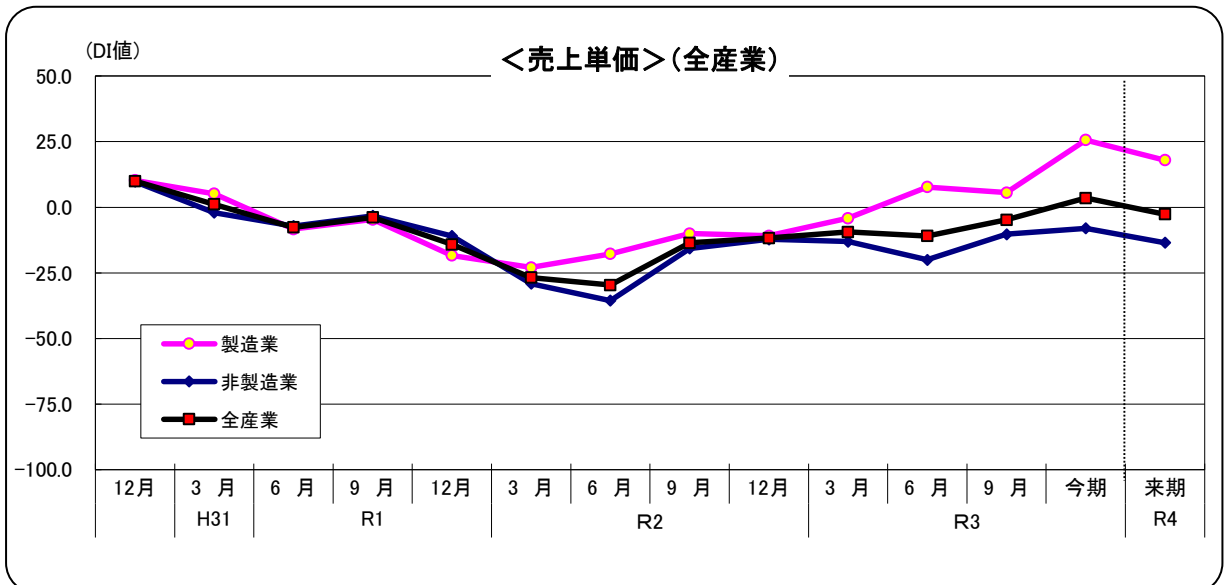
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	23.1	50.0	0.0	23.1	▲ 34.8	▲ 28.6	▲ 10.0	0.0	▲ 14.9	▲ 1.8
今期	34.6	▲ 33.3	42.9	25.6	▲ 13.0	▲ 14.3	0.0	14.3	1.3	9.6
前期	39.1	▲ 14.3	▲ 33.3	16.7	▲ 27.8	▲ 16.7	▲ 36.4	▲ 2.9	▲ 15.9	▲ 4.8



(3) 売上単価

(単位: DI)

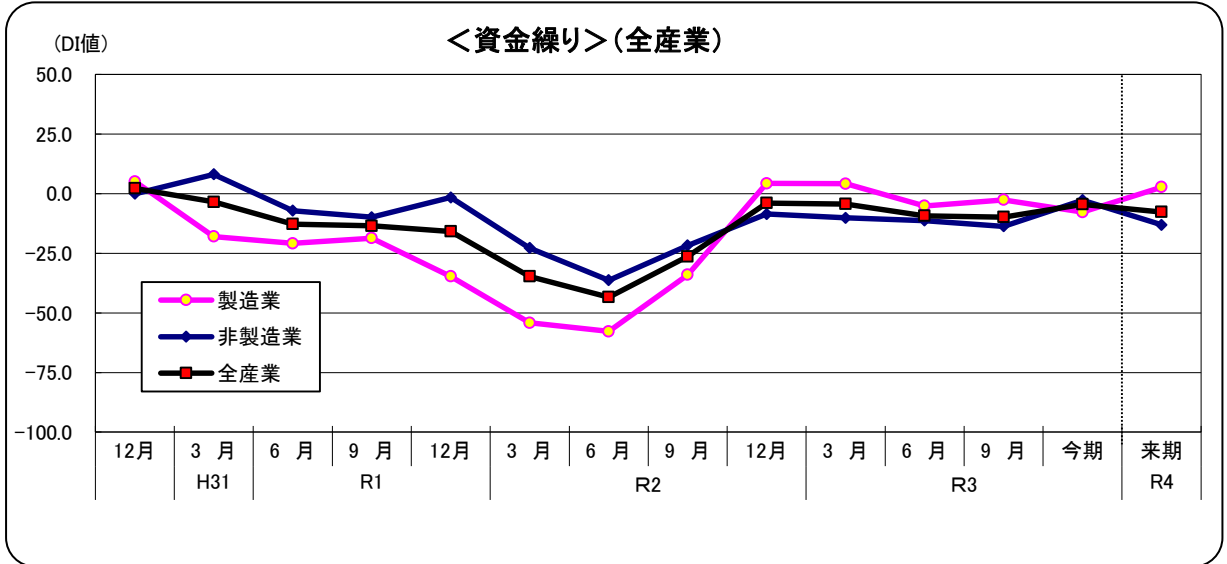
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	23.1	16.7	0.0	17.9	▲ 17.4	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 2.9	▲ 13.5	▲ 2.7
今期	34.6	0.0	14.3	25.6	▲ 17.4	▲ 14.3	0.0	▲ 2.9	▲ 8.0	3.5
前期	13.0	0.0	▲ 16.7	5.6	▲ 16.7	0.0	▲ 9.1	▲ 8.8	▲ 10.3	▲ 4.8



(4) 資金繰り

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	7.7	0.0	▲ 42.9	▲ 2.6	▲ 8.7	▲ 42.9	▲ 10.0	▲ 12.1	▲ 13.7	▲ 9.8
今期	0.0	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 7.7	4.3	▲ 28.6	20.0	▲ 8.8	▲ 2.7	▲ 4.4
前期	13.0	▲ 14.3	▲ 16.7	2.8	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 17.6	▲ 13.0	▲ 7.6

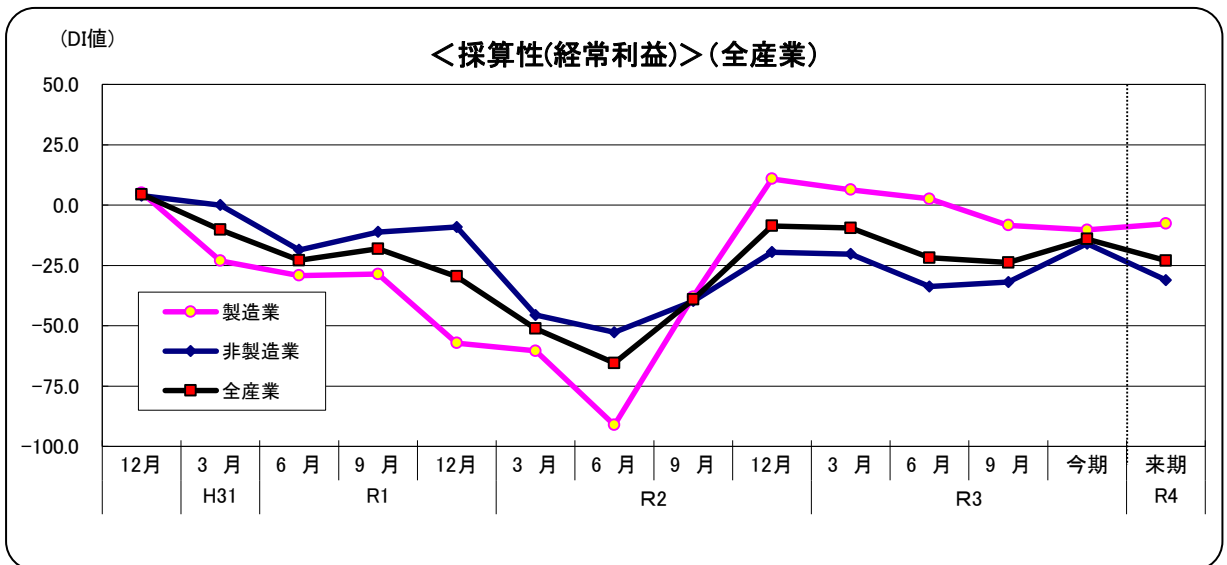


(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	0.0	33.3	▲ 57.1	▲ 7.7	▲ 43.5	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 14.7	▲ 31.1	▲ 23.0
今期	3.8	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 10.3	▲ 21.7	▲ 42.9	▲ 10.0	▲ 8.6	▲ 16.0	▲ 14.0
前期	13.0	▲ 28.6	▲ 66.7	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 45.5	▲ 29.4	▲ 31.9	▲ 23.8



今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=110)

原材料の高騰	51社	46.4%	46.4%
仕入単価の上昇	48社	43.6%	43.6%
従業員の確保難	42社	38.2%	38.2%
エネルギーコストの増加	34社	30.9%	30.9%
経費の増加	32社	29.1%	29.1%
新型コロナウイルスによる売上減少	28社	25.5%	25.5%
需要の停滞、売上の減少	25社	22.7%	22.7%
販売単価の低下・上昇難	19社	17.3%	17.3%
競争の激化	11社	10.0%	10.0%
後継者の育成・確保	9社	8.2%	8.2%
その他	10社	9.1%	9.1%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

技能実習生の受け入れが出来ていない。従業員確保が困難な状態で派遣社員での対応となっているが、派遣社員も取り合いになっており、契約単価の上昇になっている(鉄工・機械)
技術者不足・高齢化(建設業)
車両調達難(運輸)
新車の納期遅れ(その他サービス業)
育休・育休代替え要員の不足(その他サービス業)
休業、廃業が出ている(関与先に)(その他サービス業)
貸出金利息の減少(その他サービス業)
特になし

	鉄工・機械 (n=26)	繊維 (n=6)	その他製造 (n=6)	建設業 (n=23)	小売業 (n=7)	卸売業 (n=9)	サービス業 (n=33)
原材料の高騰	69.2%	83.3%	66.7%	43.5%	42.9%	55.6%	18.2%
仕入単価の上昇	38.5%	33.3%	66.7%	56.5%	71.4%	55.6%	27.3%
従業員の確保難	57.7%	16.7%	33.3%	39.1%	42.9%	22.2%	30.3%
エネルギーコストの増加	34.6%	50.0%	66.7%	8.7%	42.9%	11.1%	36.4%
経費の増加	34.6%	16.7%	16.7%	34.8%	42.9%	11.1%	27.3%
新型コロナウイルスによる売上減少	19.2%	66.7%	33.3%	4.3%	71.4%	55.6%	18.2%
需要の停滞、売上の減少	11.5%	16.7%	50.0%	30.4%	57.1%	22.2%	15.2%
販売単価の低下・上昇難	15.4%	0.0%	50.0%	13.0%	14.3%	33.3%	15.2%
競争の激化	0.0%	0.0%	16.7%	13.0%	42.9%	33.3%	3.0%
後継者の育成・確保	15.4%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	9.1%
その他	3.8%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	24.2%

Q具体的な問題点や対応策

全ての物が高くなっている（鉄工・機械）
各ユーザーには価格の見直しを依頼（鉄工・機械）
材料単価の上昇を全て販売単価に反映できていない（鉄工・機械）
原材料の高騰をいかに販売単価へ転嫁できるかが問題（鉄工・機械）
原材料費や消耗品の値上がりが続いていて、お客様に値上げ依頼をしているが、頻度が多く手間がかかっている。値上げを認めてもらえないお客様については受注辞退もしている（鉄工・機械）
販売価格への転嫁（鉄工・機械）
人材獲得難、可能な媒体にて会社 PR（鉄工・機械）
中途採用、人材派遣増員にて対応（鉄工・機械）
労働人材不足。新たな技能実習生も入ってこない。残業制限や有休義務化も足かせ（鉄工・機械）
従業員確保が困難となっており、契約社員にてその場しのぎとなっている。作業環境の変更が法律上決められており、その対応にて休憩所の設置等に費用が掛かる（鉄工・機械）
働き方改革による残業時間の上限制限（鉄工・機械）
設備投資による生産性向上（鉄工・機械）
先が見通せず設備投資の計画が立てにくい（鉄工・機械）
観光バスの生産の低迷が当分続く。建機、工作機械の部品受注拡大に努力している（鉄工・機械）
新規案件の進展が不透明（鉄工・機械）
コロナが長引き業績が悪化方向であるが、現況に対応しつつ、アフターコロナに向けて差別化、独自化の開発を積極的に進める事と、社内体制を売上に応じ対応する（繊維）
エネルギーコストの上昇-LED 照明への変更（繊維）
百貨店が良くないので、流通ルート全てが悪い（繊維）
原価に係る、ガス・油薬・部品等が高騰するが、販売価格に転嫁出来ない（その他製造）
ガス代の値上がり幅が大きいのが気になる（その他製造）
原材料高騰への対応はサプライヤーとの交渉のみ（その他製造）
採算が危ない物件はなるべく見送る（その他製造）
技術者不足の為、発注工事1件1件の採算性の影響が大きい。採算性向上が必須（建設業）
閑散期しか出来ない事をやる。自社技術向上（建設業）
同業者の過当競争が激しくなっている。また、高齢とともに人手不足が深刻である（建設業）
人材確保、及び人材育成における対応と体系づくりを構築していく必要がある（建設業）
採用活動の強化、人材育成の強化を図っている（建設業）
販路拡大、ガバナンス等（建設業）
営業力強化（建設業）
コロナで収入減に加え、プレミアムカードも当店は使えないということで、お客様の減少が気になる。小松市内の店なのにプレミアムカードを使えないのは残念です。お客様も何にも使えないのはおかしいと言っている（小売業）
ガソリン高騰は切実な問題。人員不足は少人数で残業をしてでも乗り切るしかない。団結（小売業）
専門職員の退職時期が(1~2年後)近づいているが、後任の応募者が限られる（卸売業）
元請けの売り上げ減少、経理面（卸売業）
従業員の確保難、悪天候、温暖化による仕入れ難（卸売業）
燃料価格の高騰により、アイドリングストップの励行（運輸）
急に忙しくなったため人手が不足している（飲食業・宿泊）
急な増客により仕入単価上昇（その他サービス業）
入手困難なものがある（その他サービス業）
仕入機材の納期の長期化（その他サービス業）
システム作りと社員教育（その他サービス業）

土木関係の人材不足（その他サービス業）
特になし

■ その他、意見・要望

①ITとかAIとか言うが、我社の多種少数では難しい事もある（鉄工・機械）
②必要と思われる時期、場所に工場用地が無い。知り合いの会社も市外へ工場建設を行っている。仮に工場用地を準備しても県外からの誘致をされると人員確保が現状でも困難でさらに我々の納税したお金が誘致補助金として使用されるのは本意でない（鉄工・機械）
③コロナでサプライチェーンが寸断。倒産、廃業が続き、商品の安定供給が難しい時代に（卸売業）
④今は良いけど、又オミクロンや太平洋側の地震の多さを考えた場合、本当に柔軟な対応が必要になってくるのでは。目先の景気はあまり意味持たない（その他サービス業）

会議所コメント：

①③

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

②③④

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



【設問8】(設問7で「選択肢1～11」を選択した方にお伺いします)ITツール・システムの活用によって得られた効果についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 業務効率化・標準化 | 2. 販路拡大、顧客満足度向上 |
| 3. 新商品・新サービスの開発 | 4. 人材育成・技能継承 |
| 5. 人材の採用数・定着率向上 | 6. 感染症対策(非接触・非対面対応) |
| 7. その他() | |

【設問9】ITツール・システムを活用するうえでの課題についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 何から手をつけるべきかわからない | 2. IT人材の確保・育成が難しい |
| 3. ITに関して相談できる相手がいない | 4. 自社の業務にあったツール・システムが見つからない |
| 5. 社内に複数のシステムが存在し、連携していない | 6. 情報漏洩などセキュリティ対策が難しい |
| 7. 導入・維持コストがかかる | 8. 導入したが使いこなせていない |
| 9. 導入の効果が分からない、評価できない | 10. 現状では特に課題はない |
| 11. その他() | |

【設問10】デジタル化に関して行政や支援機関へ求める施策についてお聞かせください。【複数選択可】

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. デジタルツールに関する情報提供 | 2. 県内外のデジタル化先進事例の情報提供 |
| 3. デジタル化を後押しする補助金や融資制度 | 4. デジタル化に関するセミナーの開催 |
| 5. デジタル化に関する相談窓口の設置 | 6. デジタルの専門家との個別相談、派遣によるデジタル化支援 |
| 7. デジタル人材との採用マッチング | 8. その他() |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。 ※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和3年度第3四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/BQgQhkbGpmAi36Ap7>



回答締切:12月23日(木)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)